

お部屋に合わせたガラス選びは 断熱性能と日射熱取得の コントロールがポイント。

【樹脂スペーサー仕様】

熱貫流率
1.31
W/(m²・K)

たてすべり出し窓 + FIX 連窓
[16513 サイズ]
Low-E 複層ガラス
ブルー・アルゴンガス入

※窓の熱貫流率
(JIS A 4710 : 2015 に準じた試験値)

【真空トリプルガラス仕様】

熱貫流率
0.99
W/(m²・K)

たてすべり出し窓 + FIX 連窓
[16513 サイズ]
真空トリプルガラス
日射遮蔽型クリア・アルゴンガス入

※窓の熱貫流率
(JIS A 2102-1 に準じた計算値)

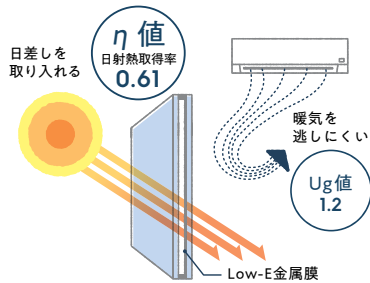
太陽の熱といかに上手に付き合うか？を考えて、目的に合わせた2タイプのLow-E複層ガラスをラインアップ。冬場に太陽の暖かさを取り込みたい南向きの部屋には“日射取得型”のガラスで日差しをたくさん取り入れ、厳しい西日が差し込む部屋には、“日射遮蔽型”のガラスで日差しを遮るなどの使い分けができます。



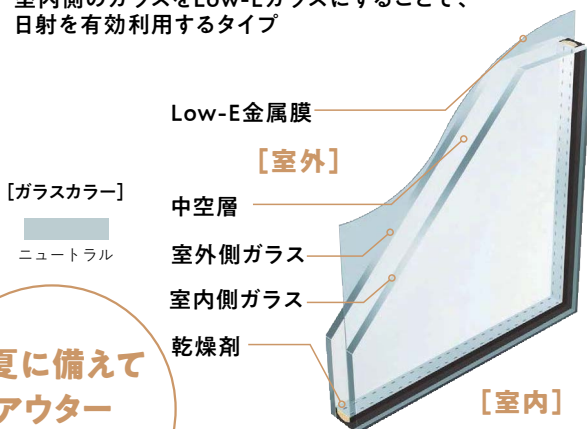
日射取得型

日差しをたっぷり取り込み、暖かく快適に

日射取得を優先する場所や方角には、断熱タイプニュートラルがおすすめ。視界もクリアで太陽光を取り込み、冬の暖房熱を外へ逃しません。



室内側のガラスをLow-Eガラスにすることで、日射を有効利用するタイプ



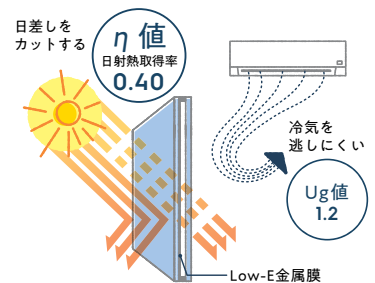
+夏に備えて
アウター
シェードを



日射遮蔽型

断熱性と日射遮蔽のベストバランス

断熱性能と日射遮蔽のベストバランスを実現したのが、遮熱タイプブルーです。西日を遮り、冬の熱の出入りや結露を抑えます。



室外側のガラスをLow-Eガラスにすることで、日射遮蔽を重視するタイプ*



*ガラスカラーによって、Low-E金属膜の位置が異なります。